

飛騨古川の 観光案内人

『飛騨古川を通じて、
美しい日本を感じてほしい』

飛騨古川夢ふるさと案内人会は、飛騨市を訪れる人々に静かな町並みや歴史や生活文化などを知ってもらい、またこのまちに來たいと思ってもらえるように、飛騨弁を交えた観光ガイドをしています。

今回は、そんな森下さんの特におすすめのスポットを案内していただきました。最初に向かったのは飛騨の匠文化館。「匠文化館の最大の特徴は、釘を一本も使っておらず、日本建築の基本に基づいた建物で、30人の大工で建築されたため、大工のシンボルマークである雲形肘木（くもがたひじき）が30通りあります」と語る森下さん。

匠文化館は、30年ほど前に（財）観光資源保護財団が古川の町並みを調査した際に、飛騨古川の町並みはすばらしい建築技術で大工の伝統が生かされており、伝統工法のシヨールームであると絶賛され、その伝統工法を後世に伝えるために建てられました。

「多くの人は古い町並みというと歴史的建造物保存地区（年代の古いもの）と思われるかもしれませんが、飛騨古川の町並みで特徴的なのは、古くて新しいことです」と語る森下さん。



飛騨古川夢ふるさと案内人会 会長 森下 純雄さん

「飛騨古川を通じて、美しい日本を感じてほしい」をポリシーに日々案内をしています。

また、飛騨市誰でも自主講座で毎月、『飛騨古川の魅力』をテーマに講座を以下の日程で行っています。ご興味のある方は、ぜひ受講ください。

■開催日程

6/8(土)、7/13(土)、8/10(土)、9/14(土)

■時間 19:30~21:00

■会場 古川町公民館

【問】飛騨古川夢ふるさと案内人会 森下
電話0577-74-1192



▲伝統工法を活かした古川の町並み



▲飛騨古川独特の立派な屋台蔵

▶「雲形肘木」について語る森下さん



らある町家と伝統工法を活かしながら時代に対応し、新築された古川独特の新町家が混在していることが特徴で、この町並みは全国的にとっても珍しいといえます。

また、雲形肘木を一般住宅に使用することや、美しい木目を装飾として使用する、楣(まぐさ)も飛騨古川の大きな特徴だといえます。

次に向かったのは、屋台が保管されている屋台蔵。これは、飛騨古川独特のもので

とても珍しいです。特に、屋台蔵正面の観音開きの扉は、大工と左官と鍛冶屋が三位一体となつて完成した飛騨の匠の高度技術です。飛騨の屋台が美しいのは定評がありますが、これに及ばず、屋台を保管する土蔵も第一級のもので」と語る森下さん。

この他にも、瀬戸川や円光寺、真宗寺、本光寺の三寺の魅力など古川について熱心に語ってくださいました。

続いて、観光案内所へ移動し、森下さんに飛騨古川夢ふるさと案内人のやりがいについてお話を伺いました。

「常におもしろさを感じながら、自分も楽しみながら日々案内をしています。お客さんに話が伝わらないこともあります。話を理解してもらえたりやりがいを感じます」と話してくださいました。

普段のなにげない町並みでも、案内してもらおうと新たな発見がありました。これからは新緑の季節。皆さんも楽しい気分を歩いてみてはいかがでしょうか。

飛騨古川 夢ふるさと案内人

ガイド料 案内人1人

2時間程度 2千円

【モデルコース】

(約1時間半〜2時間)

飛騨古川まつり会館

← 瀬戸川と白壁土蔵の町並み

← 造り酒屋

(渡辺酒造店、蒲酒造場)

← 三嶋和ろうそく店

← 三寺まいり

(本光寺、円光寺、真宗寺)

※コースについてのご相談はお気軽にご連絡ください

飛騨古川夢ふるさと案内人では、会員を募集しています。ご興味のある方は、お問い合わせください。

【問い合わせ予約】

0577・74・1192

受付時間

9時〜17時(平日のみ)